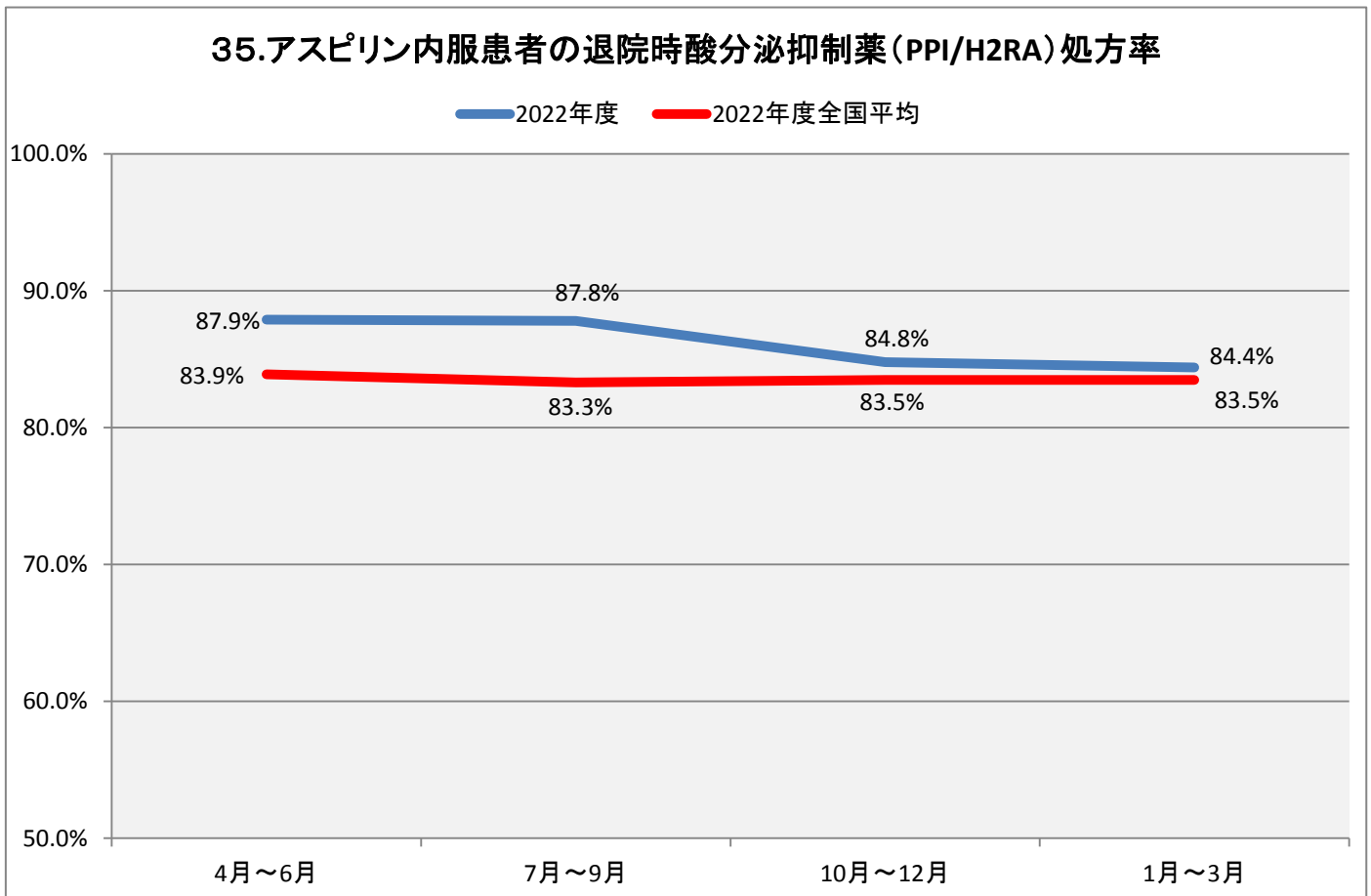


35.アスピリン内服患者の退院時酸分泌抑制薬(PPI/H2RA)処方率

(1)調査結果



調査期間	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
2022年度	87.9%	87.8%	84.8%	84.4%
2022年度全国平均	83.9%	83.3%	83.5%	83.5%

(2)指標の説明

消化性潰瘍診療ガイドライン2015 第2版では、「低用量アスピリン(LDA)による消化性潰瘍の発生頻度、有病率の抑制には酸分泌抑制薬が有効である(エビデンスレベルA)ので行うように推奨する(推奨の強さ1)」とあり、この推奨をもとにより望ましいプラクティスとして指標を策定しました。

ただし、消化性潰瘍診療ガイドライン2020で示されるように、一次予防でのPPI/H2RA投薬は保険適用外となるため、指標の活用時にはこの矛盾にも留意する必要があります。

2022年度から採用された指標です。

(3)定義

分子:分母のうち、退院時に酸分泌抑制薬(PPI/H2RA)が退院時に処方された患者数

分母:退院時にアスピリン内服薬が処方されている18歳以上の患者数